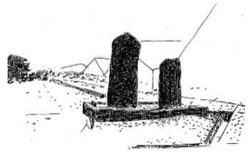
各区点描 ～新丁区～



江戸時代の末期に、亘理伊達家の家臣が中心になって開墾しました。南北２本の道路と東西の小道を作り、南北２０間、東西３０間の地割がなされ、宅地ができました。地区内の稲荷神社脇には的場（おだいば）が置かれ、鉄砲、弓矢の訓練がありました。

また、子どもたちの教育に熱心で寺子屋の先生の石碑があります。

地区は３８戸ほどで始まり、北海道移住で減少した時期もありましたが、柴町からの分家等で戸数が増え、現在は６５戸ほどになっています。

昭和４０年頃、一帯の農地では果樹やトマトやキュウリ、ナスなどの野菜栽培が盛んで、集会所脇の集荷場から仙台へトラックで出荷していました。その後、生産の主力はイチゴ栽培に移りました。

先の大震災では常磐道が津波の勢いを弱め、沿岸部に比べると比較的被害は少なく、人的被害もありませんでした。地区では、春秋の交通安全期間に一本松区との境の三叉路で交通安全指導を行い、集会所では女性の会等、区のさまざまな集まりが行われます。また、神社の役員は境内の清掃や樹木の伐採、除草剤散布等を行っています。

（参考：郷土わたり、本紙 25，32，51 号）　（絵と文　佐々木　寛）

絵は電柱を省いた西丁の通り、稲荷神社の古碑群、小野先生の碑

吉田地区交流センター

４月の人事異動で吉田地区交流センター所長に着任いたしました、岩佐英貴と申します。このたびは、このようなご縁をいただき、心より嬉しく思っております。地域のみなさんとの出会いを何より大切に、地域に根ざした交流センターづくりに取り組んでまいります。

吉田地区交流センターが、世代を問わず多くの方に気軽に立ち寄っていただける「憩いの場」となり、地域のつながりを深める拠点となるよう努めてまいります。また、みなさまの声に耳を傾けながら、より親しみやすく、利用しやすい施設運営を目指してまいります。

編集長のつぶやき

４月２０日に亘理町で震度４（青森県で震度５強）の地震がありました。私は携帯の地震警報後に、ガタガタという縦揺れよりも、大きくゆっくりと横に揺れる地震（長周期地震動）を感じました。結構大きくて、東日本大震災後に再び大きな地震があるとも聞いていたので、「来たか！」とも思いました。

この地震により、巨大地震発生の可能性が相対的に高まったとして「北海道・三陸沖後発地震注意報」が発表されました。幸い、期間内にそうした地震は起こりませんでしたが、巨大地震の可能性はなくなっていないそうです。避難場所の確認や非常用品の備蓄など、「日頃の備え」の大切さを再確認しました。（佐々木）

次回は令和８年９月１日発行予定です

鳴り砂だより

吉田東部地区まちづくり協議会

広報誌 No.５９

６月

発行日　令和８年 ６月 １日
編　集　吉田東部地区まちづくり協議会
住　所　亘理町吉田字大塚 185
電　話　0223-36-8831
ＦＡＸ　0223-36-8832
E mail　wa.tukuri.yt@ia9.itkeeper.ne.jp
発行責任者　福本　眞

～ 令和８年度　総　会 ～

４月１７日（金）、令和８年度の総会は、亘理町長山田周伸様をはじめ来賓の皆様をお迎えし、代議員・部会員２４名（委任状６名含む）の出席のもと、予定どおり開催されました。
当日は、役員人事、令和８年度の事業計画など、すべての議案が承認されました。

令和８年度　会長挨拶

会長 福本 眞

令和８年度総会にて、役員一同が再任され、これから３年間の会の運営にあたることになりました。コロナ禍中にスタートしたここまでの２期６年間でしたが、「みんなで力を合わせて住みよい『吉田東部地区』を作ろう」をスローガンに、「自然を守りながら、安全で安心して住むことができる『吉田東部』」を基本目標に諸活動に取り組んでまいりました。その一環として取り組んできた「吉田浜海岸クリーンアップ作戦」が認められ、昨年秋には「すばらしい宮城県を創る運動」においてその功績が表彰されました。この先３年間も「安心安全」「地域振興」「コミュニケーション（ふれあい）」の活動方針のもと、「安全・元気・健康」の３部会による事業を中心に、支え合いの心を大切にしながら、諸事業に取り組んでまいります。

「まちづくり」の基本は、地域に住む方々一人ひとりが担い手であることです。まちづくり協議会は行政とも協力しながら、地区の方々に活躍の機会を提供します。ふるさとへの愛をともに育み、住みよい、豊かな郷土をつくるため、あなたの参加を待っています。

令和8年度　役員・部会員紹介

	役　職	氏　名	行政区		部会長	鈴木義男	浜吉田西
役員	会　長	福本　眞	浜吉田北	元気部会	副部会長	佐々木ひろみ	開墾場
	副会長	三品正明	新　丁		部会員	若林正美	浜吉田西
		大堀由美子	浜吉田北			鈴木ヨシ子	浜吉田東
	会計・書記	田辺直正	浜吉田東			髙倉　進	一本松
	監　事	渡邉政彦	野　地			村橋すえ子	開墾場
		佐々木　寛	開墾場			菊池道子	浜吉田北
安全部会	部会長	丸子常代	長瀞浜	健康部会	部会長	田代宗夫	浜吉田北
	副部会長	星　春美	浜吉田北		副部会長	星野隆一	一本松
	部会員	赤間　勉	一本松		部会員	大堀康博	浜吉田東
		石井里子	浜吉田西			佐々木　寛	開墾場
		清野久美	浜吉田西			渡辺　宏	浜吉田西
		菅原秀紀	長瀞浜			丸子吉雄	長瀞浜
		伊藤節子	新　丁			東　聖史	浜吉田東
		安田　修	開墾場				

令和8年度　年間事業予定

安全部会

4月13日（月）春の交通安全啓発活動
5月30日（土）普通救命講習会
9月：秋の交通安全啓発活動
10月31日（土）防災教室
11月：いじめ防止キャンペーン
2月27日（土）防火教室
随時：通学路ストップマーク 点検・補修

元気部会

6月　3日（水）いちごジャム作り
6月13日（土）吉田浜海岸清掃
9月26日（土）吉田浜海岸清掃
10月23日（金）料理教室～はらこめし飯作り～
11月：ワークショップ
12月19日（土）しめ縄づくり体験教室
1月23日（土）新春おたのしみ演芸会
2月：料理教室～ほっき飯作り～

健康部会

5月23日（土）長瀞小学校運動会支援
6月27日（土）いきいき健康講座
9月12日（土）ふれあい健康まつり
10月24日（土）田んぼみち
歩ぐべ駅伝
3月20日（土）ふれあい
スポーツ広場

※都合により日程が変更になる場合があります

～防災豆知識～「防災気象情報・注意報が変わります」

令和８年５月 28 日から気象庁が発表する**防災気象情報**の表現が変わります。気象に関する情報には、大雨、洪水、氾濫、土砂災害、高潮などについて、それぞれ注意報、警報があります。例えば現在の大雨に関する情報の場合、**大雨注意報**、**大雨警報**があります。各自治体は、その情報を参考にして、図１のように警戒レベル１から５までにランク付けし、レベル３高齢者等避難、レベル４避難指示、レベル５緊急安全確保などの**避難情報**を発表しています。レベル４までに必ず避難するとされていますが、発表される気象警報との関係が明確でないところがありました。

図１　避難情報の５段

新しく採用される防災気象情報では、図２のようにそれぞれの警報・注意報に名称とレベルが付記されます。例えばこれまでの「大雨警報」が「**レベル３大雨警報**」のようになります。危険な場所から避難が必要な状況であるレベル４相当の情報は、これまでは相当の警報はなかったのですが、新たに「**危険警報**」として発表され、「**レベル４大雨危険警報**」となります。自治体はこのような気象庁からの情報を参考にして、「警戒レベル４の避難指示」などの避難情報を発表します。危険度レベルが付記された新しい防災気象情報の表現は、避難情報を待たずに自主的な避難判断も可能になります。大河川氾濫（いわゆる外水氾濫）に関しては、河川氾濫警報などの名称で発表され、大雨警報などの情報は、低地の浸水や大河川以外の氾濫（いわゆる内水氾濫）の危険性を表しています。吉田東部地域については、阿武隈川氾濫の危険性とともに、内水氾濫の危険性も重視すべきです。

これらの防災気象情報のほか、新たに極端な現象について「**気象防災速報**」が発表されます。これまでの「顕著な大雨に関する気象情報」が「**気象防災速報（線状降水帯発生）**」や「**気象防災速報（線状降水帯直前予測）**」に、「記録的短時間大雨情報」が「**気象防災速報（記録的短時間大雨）**」になります。

（参考：気象庁・国土交通省の資料）　（三品記）

	河川氾濫 1級河川などの大河川の氾濫	**大雨** 低地の浸水や大河川以外の氾濫	**土砂災害** 急傾斜地のがけ崩れや土石流	**高潮** 海水面の上昇や波の打上げによる浸水	（警戒レベルごとの）住民がとるべき行動
警戒レベル5相当	レベル５ 氾濫特別警報	レベル５ 大雨特別警報	レベル５ 土砂災害特別警報	レベル５ 高潮特別警報	命の危険　直ちに安全確保！
＜警戒レベル４までに危険な場所から かならず避難！＞					
警戒レベル4相当	レベル４ 氾濫危険警報	レベル４ 大雨危険警報	レベル４ 土砂災害危険警報	レベル４ 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル3相当	レベル３ 氾濫警報	レベル３ 大雨警報	レベル３ 土砂災害警報	レベル３ 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル2	レベル２ 氾濫注意報	レベル２ 大雨注意報	レベル２ 土砂災害注意報	レベル２ 高潮注意報	避難行動を確認（避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど）
警戒レベル1	早期注意情報				災害への心構えを高める

図２　新しい防災気象情報の発表形式